

# 環霧島の希少動植物データブック



環霧島会議の自治体をそれぞれ星に例え、霧島山を中心に、各自自治体が連携しながら輝く姿をイメージしました。

夜空に輝く星座のように、7つの星が一つになり、大きな光を放つ星になることを願っています。

環霧島会議 環境専門部会

## はじめに

### 環霧島会議とは？

環霧島会議は、日本最初の国立公園の1つである霧島屋久国立公園の「霧島山」をふるさとの山と捉える自治体が、それぞれの行政区域を越えて連携し、環境、観光、防災及び教育等の様々な施策・事業について、お互いに知恵を出し合い、協働することにより、地域活性化を図る目的で、平成19年に設立されました。

### 構成市町

霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成されております。

鹿児島県 霧島市、曾於市、湧水町

宮崎県側 都城市、小林市、えびの市、高原町

### 環境専門部会

環霧島会議には、6つの専門部会（環境、観光、防災、教育、広報、農林）があり、それぞれで圏域内の課題等について、協議・検討を行い、様々な施策・事業を展開しています。

環境専門部会では、これまでに、不法投棄防止看板の設置、霧島山系の生態系の研究、自然環境の保全等について、協議を行ってきました。

### 環霧島の希少動植物データブック

これまでの環境専門部会において、構成市町から寄せられた圏域内の希少動植物の生育状況と保護活動の内容について、「環霧島の希少動植物データブック」としてまとめました。

この情報を圏域内外の皆様に広くお知らせするとともに、更なる情報提供を呼びかけ、環境保護の一助となることを目指します。

平成31年3月

環霧島会議 環境専門部会

# 目 次

## 1 圏域内の希少動植物の生育・生育状況と保護活動について

植物編 . . . P 1 ~ P 1 0

動物編 . . . p 1 1 ~ P 1 3

生育・生息状況分布図 P 1 4

### 【参考】環境省カテゴリー

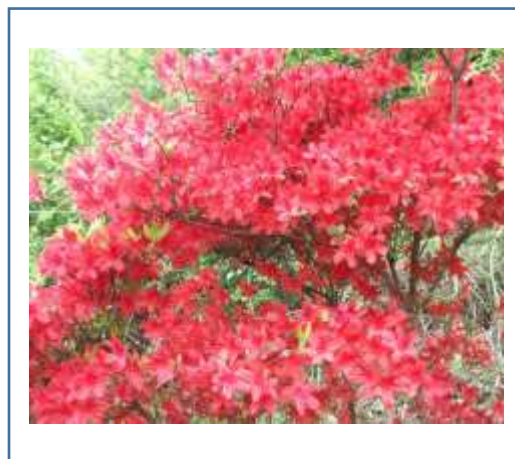
分類	内容
絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	我が国において野生ではすでに絶滅したと考えられる種
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種 CR : 絶滅危惧 I A 類 ごく近い将来における野生絶滅の危険性が極めて高いもの。 EN : 絶滅危惧 I B 類 絶滅危惧 I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危機が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

※改定・宮崎県版レッドデータブックより抜粋

## キシマツツジ（おこびらツツジ）

### 形態と生育環境

キシマツツジは、霧島山が原産地とされ、江戸時代に盆栽用として全国に広まったとされている。圏域内では、原産地でありながら、あまり目にすることができない貴重な植物となっている。常緑低木、4～5月に紅色の花が咲く。



### 絶滅の危険性

環境省 : -  
宮崎県 : -  
鹿児島県 : -

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
えびの市	上大河平自治会区域で、古木（樹齢100年以上）約220株、若木（樹齢100年未満）約420株が生育している。	大河平ツツジ保存会が発足しており、増殖及び保護のための調査研究、地区内での植栽を実施している。
湧水町	個人宅で約30株の生育が確認されている。	個人宅で、大切に育てられている。
霧島市	市内約30箇所で生育が確認されている。	毎年、開花時期に市役所ロビーでの写真展及び協力者宅のオープンガーデンを開催し、広く周知、普及啓発に努めている。 また国分中央高校及び民間団体において保存・増殖に関する研究がされている

## ノカイドウ

### 形態と生育環境

世界で霧島地域だけに自生する。しかし、高木による被圧、ニホンジカの剥皮害、根元の洗掘等により絶滅の危機に瀕している。国の天然記念物。

バラ科、落葉小低木、高さ約 5m。花は白色でわずかに紅色、5 月に咲く。

### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧 I B 類 (EN)

宮崎県 : 絶滅危惧 I A 類

鹿児島県 : 絶滅危惧 I 類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
小林市	天然木として大幡山付近に 1 本確認されている。 観察用として、平地に苗を移植して観察している。 (出の山、須木小野湖畔等)	民間団体が、大学等と連携し調査中である。 天然木の調査も継続して実施している。
霧島市 えびの市	2016 年 4 月現在で、241 本の生存が確認されている。今後 40 年で絶滅する恐れがある。	国・県、周辺自治体と連携し、枝打ち作業、防護ネットの整備等の保護活動を実施している。

## ノハナショウブ

### 形態と生育環境

九州南部が南限とされている。

国の天然記念物。

アヤメ科。夏緑の多年草。

5月下旬～6月中旬に咲く。



### 絶滅の危険性（環境省区分による）

環境省 : -

宮崎県 : 絶滅危惧ⅠB類（EN-r）

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅱ類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
湧水町	自生南限地として三日月池に自生している。	池の周囲を木柵で囲い、看板を立てて保護している。
えびの市	鍋倉湿原に自生している。	地域住民により保護活動が実施されている。



## ジュンサイ

### 形態と生育環境

若い茎や葉は寒天様の粘質につつまれ、食用とされる。

ハゴロモモ科。多年草の浮葉植物。

花は、6月～8月に咲くが、小さく目立たない。



### 絶滅の危険性（環境省区分による）

環境省 : -

宮崎県 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR-r)

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅱ類



## ヒツジグサ

### 形態と生育環境

野性のスイレンで、羊の時間（午後2時）頃に開花することから名づけられたが、実際は朝から夕方まで花を咲かせる。

スイレン科。多年草の水生植物。

花は、6月～11月に咲く。

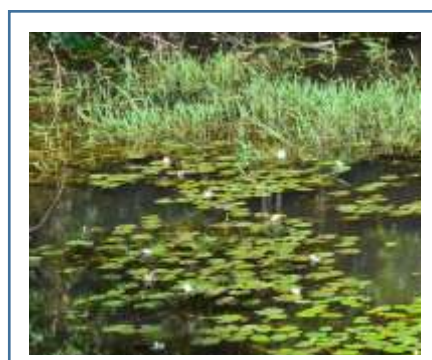


### 絶滅の危険性（環境省区分による）

環境省 : -

宮崎県 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR-g)

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅱ類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
えびの市	ジュンサイとヒツジグサが鍋倉湿原の同じ所に自生している。	地域住民により保護活動が実施されている。

## オオヨドカワゴロモ

### 形態と生育環境

流水中の岩石の表面に生える多年草。  
大淀川水系のみに生息する固有種。  
国の天然記念物。



### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
宮崎県 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR—r)  
鹿児島県 : —

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
小林市	市内を流れる大淀川水系岩瀬川のみに生息している。	年1～2回河川の清掃を実施し、保護に努めている。



## キスミレ

### 形態と生育環境

夏緑の多年草。山地の草地に生育。

春に茎の先に花茎を伸ばし、先に黄色の花を咲かせる。

園芸採取による減少が懸念される。

### 絶滅の危険性

環境省 : -

宮崎県 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR-r)

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅰ類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
都城市	都城市吉之元町に自生している。	生物多様性保全対策検討委員会とともに、毎年、個体数の調査等を実施している。

## カワゴケソウ

### 形態と生育環境

流水中の岩上に生える多年草。

花茎は長さ2～4mm。

11月～12月に花を咲かせる。

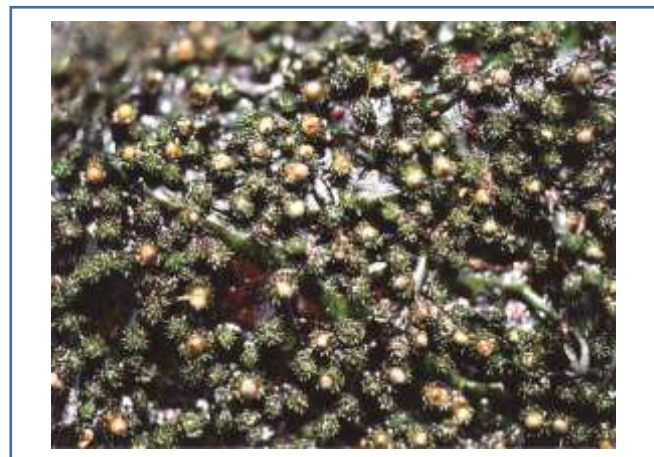
日本固有種。

### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧ⅠB類 (EN)

宮崎県 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR-r)

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅱ類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
霧島市	天降川の塩浸橋から真米甌穴群周辺と中津川の妙見崎橋から犬飼の滝にかけて、局所的に生育している。	「霧島市生物多様性推進プラン」において、本種の保護を重点施策の一つとして位置付けており、今後生育状況の経年的な調査を検討中である。

## エヒメアヤメ

### 形態と生育環境

山地に生える多年草。開花は3~4月、高さ5~15cmの花茎の先に1花が咲く。花は青紫色。

### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

宮崎県 : 絶滅危惧ⅠA類 (CR-g)

鹿児島県 : -

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況



	生育・生息状況	保護活動状況
小林市	市内南西方生駒の生息地が国指定天然記念物の自生南限地帯に指定されており、開花時期のみ公開している。 また、北西方勸請岡にも自生している。(通年で観察可能)	「エヒメアヤメを守り育てる会」が草刈りや野焼きを実施し、保護啓発活動を実施している。 なお、南西方の自生南限地は、周囲に防護柵を設置し、日照の支障となる木を伐採するなど、保護育成に努めている。

## サギソウ

### 形態と生育環境

日本固有種で湿地に生育している。

7月~8月に白い花を咲かせる。

### 絶滅の危険性

環境省 : 準絶滅危惧 (NT)

宮崎県 : -

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅰ類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
えびの市 湧水町	沢原高原にて自生している。	えびの市と湧水町で自然環境保全推進連絡協議会を設立して、沢原高原の自然環境を保全していくよう、自然保護調査及びパトロールを地元の自然保護団体に委託して、実施している。

## ヒゴタイ

### 形態と生育環境

やや乾いた草原に生える。茎は高さ約1m内外。  
花はるり色で、8月～10月に咲く。



### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
宮崎県 : 野生絶滅 (EW-r)  
鹿児島県 : 地域絶滅

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
都城市	都城市都北町の住友ゴム宮崎工場敷地内のビオトープで保護・育成されている。	住友ゴムグループは、生物多様性構成要素の持続可能な利用に配慮した事業活動を積極的に推進しており、事業所ごとに敷地内で希少な在来種の保護・育成を手掛けている。 宮崎工場では、宮崎県で希少種または絶滅危惧種とされているヒゴタイ、フウランや準絶滅危惧種のハナガガシ等を植樹し、生物多様性へ最大限に配慮した植物の育成に取り組んでいる。将来的には育成した植物を元々生息していた地域へ戻していく計画である。

## サクラソウ

### 形態と生育環境

夏緑の多年草。湿性の草地に生える。

花は4月～5月に咲き、高さ40cmの花茎を伸ばし先端に7～20個のピンク色の花を付ける。



### 絶滅の危険性

環境省 : 準絶滅危惧 (NT)

宮崎県 : 絶滅危惧 IA 類 (CR-g)

鹿児島県 : 絶滅危惧 I 類

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
都城市	都城市御池町に自生している。九州南部の霧島山麓にもかつては多数のサクラソウ自生地が存在し、世界におけるサクラソウ分布の南限としても知られていたが、現在ではそのほとんどが消失し、宮崎県版レッドデータブックでは絶滅危惧 IA 類として記載されている。(東京大学研究レポートより)	生物多様性保全対策検討会委員とともに、毎年、個体数の調査等を実施している。また、サクラソウ群生地にはロープなどで入らないように保護してある。



## ツクシショウジョウバカマ

### 形態と生育環境

常緑の多年草。湿潤な林床や林縁、岩場に生育している。

森林伐採、道路開発、観賞用採取が原因で絶滅が危惧されている。

### 絶滅の危険性

環境省 : -

宮崎県 : -

鹿児島県 : 準絶滅危惧



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
曾於市	財部町大川原峡周辺の溶結凝灰岩に多く生育している。	建設同志会クリーン活動やシルバー等の清掃作業班には、植物を傷めないようにと注意を促している。

## ヤイロチョウ

### 生息環境及び生息状況

全長約 18cm。産卵期は 6 月初旬～7 月中旬。

主な餌は、ミミズ。

標高 500～600m の常緑広葉樹や針広混交のよく茂った林に生息している。

### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧 I B 類

宮崎県 : 絶滅危惧 I B 類 (EN)

鹿児島県 : 絶滅危惧 I 類

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況



	生育・生息状況	保護活動状況
高原町	野鳥の森・皇子原に生息している。	野鳥の森では、遊歩道以外の立ち入り禁止を実施し、保護に努めている。
えびの市	霧島山に生息している。	日本野鳥の会により生息調査が実施されている。

## クロツラヘラサギ

### 生息環境及び生息状況

朝鮮半島から中国東北部で繁殖し、日本を含む東アジアで越冬するとされる。

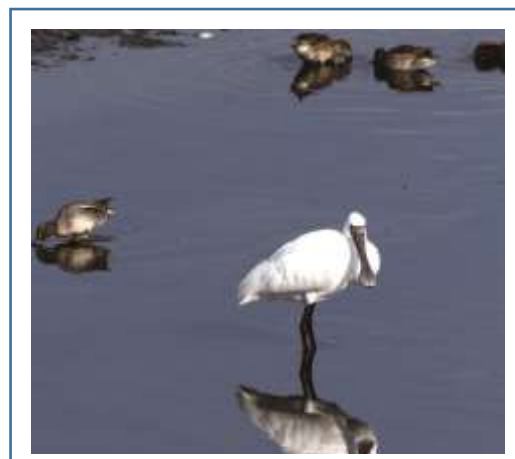
河口、干潟などの湿地と、その周辺の農耕地などに生息し、河口近くの中州などをねぐらとする。

### 絶滅の危険性

環境省 : 絶滅危惧 I B 類

宮崎県 : 絶滅危惧 I B 類

鹿児島県 : 絶滅危惧 I 類



### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
霧島市	世界での生息羽数約 5, 200 羽のうち、日本には約 570 羽飛来し、そのうち鹿児島湾奥部には約 40 羽が訪れている。	近隣の NPO 法人主導で、NPO 法人、近隣自治体、住民等の構成員により、クロツラヘラサギ等の希少生物保護のための話し合いを定期的に行っている。 (錦江湾奥湿地の保全利用に関する懇話会)



## コシジロヤマドリ

### 生息環境及び生息状況

ヤマドリの1亜種。

オスは尾が長く全長125cm、メスは55cm。

非繁殖期には単独で行動するが、繁殖期になると一箇所に5~6羽が集まる。

広葉樹林を好むが、スギ・ヒノキの密林、雑木林にも生息する。



### 絶滅の危険性

環境省 : 準絶滅危惧

宮崎県 : 準絶滅危惧

鹿児島県 : 準絶滅危惧

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
高原町	野鳥の森・皇子原に生息している。	野鳥の森では、遊歩道以外の立ち入り禁止を実施し、保護に努めている。
えびの市	市南部の満谷国有林、市北部のクルソン峡、西内堅において生息している。	日本野鳥の会により生息調査が実施されている。

## クマタカ

### 生息環境及び生息状況

全長オス約75cm、メス約80cm。

翼開長は、約160cmから170cm。

日本がクマタカの最北の分布域であり、北海道から九州に留鳥として生息し、高木に木の枝を組み合わせた皿状の巣を作る。

食性は動物食で森林に生息する。

環境省 : 絶滅危惧ⅠB類

宮崎県 : 絶滅危惧Ⅱ類

鹿児島県 : 絶滅危惧Ⅰ類



	生育・生息状況	保護活動状況
えびの市	市南部の満谷国有林において生息している。	日本野鳥の会により生息調査が実施されている。

## ハッチョウトンボ

### 生息環境及び生息状況

体長 17～18mm で国内産トンボ類では最小の種である。成虫は 5 月頃から発生し、遅い個体は 9 月頃まで見られる。未熟な個体は、雌雄とも同じような色をしているが、成熟すると、雄は全身赤色となり、雌の腹部は、茶色の地色の縞模様となる。



### 絶滅の危険性

環境省 : -

宮崎県 : 絶滅危惧 I B 類 (EN-g)

鹿児島県 : 分布特性上重要

### 圏域内での生育・生息状況及び保護活動状況

	生育・生息状況	保護活動状況
都城市	庄内地区の太陽光発電施設が建設されたシラス採取跡地の湿地帯に生息している。	<p>現在、生息場所は、土地所有者により柵が設置されており立ち入りを制限している。</p> <p>また、地元有志で「都城ハッチョウトンボ保存の会」が平成 28 年 12 月に発足している。</p> <p>平成 29 年 7 月には、有識者等にて構成される「都城市生物多様性保全対策検討委員会」が生息地で開催された。</p> <p>この中で、生息地の自然環境、昆虫・水生生物、植物、鳥類、ほ乳類、両生類、は虫類の状況確認を行い、今後の対策について検討した。</p> <p>現在は、生息条件が形成されてからの年数が浅く、個体数の変化等について数年単位での観察が必要であるとともに、関係者の意識醸成及び連携等が必要である。</p>

○生育・生息状況分布図



※希少性等により、未掲載のものもある。